



【本教材のガイダンスと到達目標】

- **対象者：** 福岡県公立高校入試を受験する中学 3 年生（および指導者・保護者）
- **特に向いている生徒：**
 - 歴史を一問一答の用語暗記だと思い込み、大問 1 で安定して得点できない生徒
 - 年代整序問題で「年号を覚えていない」と手が止まってしまう生徒
 - 資料問題でどこを見ればよいか迷い、時間を浪費してしまう生徒
 - 指定語句つきの記述問題で、言葉をどうつなげばよいか分からず減点される生徒
- **このプリントでできるようになること：**
 1. 大問冒頭の表・カード・年表から各設問の時代枠を特定し、選択肢の「時代外の語句」を迷わず消去できるようになる。
 2. 年号を丸暗記していなくても、政治過程や前後関係の流れから時系列・年代位置を論理的に決定できるようになる。
 3. 提示された資料が「資料を見なければ解けない（必須）」のか「単なる背景知識（補助・知識中心）」なのかを瞬時に判別できるようになる。
 4. 指定語句を見た瞬間に「答案の主語・述語・因果関係の骨格」を組み立て、過不足のない記述答案を作成できるようになる。
- **推奨する使い方：**
 - **Step 1（理論の整理）：** 第 1 章・第 2 章を読み、福岡県大問 1 で繰り返し確認された「4 大処理の型」を頭に入れる。
 - **Step 2（自力演習）：** 第 3 章の実戦定着ドリル（全 12 問・複数小問を含む）を、解説を見ずに解く（目安時間：20～25 分）。
 - **Step 3（誤答分析）：** 答え合わせの際、各問の解答欄にある「誤答原因チェック欄」を使い、自分のミスの原因が「知識不足」なのか「処理の手順ミス」なのかを言語化する。
 - **Step 4（過去問演習）：** 第 6 章の「過去問演習 組み合わせ優先度表」に従い、実際の入試過去問で型を再現・定着させる。

【冒頭 1 分要約：15 年分析が導いた結論】

【結論】福岡県の大問 1 は「用語の暗記量だけ」では決まらない。

15 年間（2012～2026 年）の過去問を客観的に分析すると、出題形式や題材が変化しても、本教材では、15 年分析から繰り返し確認された主要な処理を、以下の 4 つに整理する。

1. **時代枠判定・選択肢消去：** 15/15 年度ですべて確認された通史的導入資料を、時代判定と選択肢消去に利用する。
2. **時系列・年代位置処理（11/15 年度・73.3%）：** 年号暗記だけに頼らず、政治過程や前後関係から処理する。

3. **資料関与度の選別**：提示資料が正答決定にどこまで必要か（必須・補助・知識中心）を見極める。
4. **条件つき記述（2015～2026 年度で 12 年連続）**：指定語句や書き出し条件から答案構造を組み立てる。

★ 問題の見た目は変化するが、15 年分析ではこれら 4 つの処理が繰り返し確認されている。

第 1 章：15 年分析が示す大問 1 の基本構造

1. 15 年間の出題データから確認された客観的事実

- **導入資料の恒常性（15/15 年度・100%）**：全年度で大問冒頭に対照表、カード、略年表のいずれかが配置されている。
- **文章記述の継続性（13/15 年度・86.7%）**：説明記述または資料読解記述がほぼ毎年出題されており、特に 2015 年度以降は 12 年連続で指定語句または書き出し条件を伴う記述が出題されている。
- **時系列処理の頻出性（11/15 年度・73.3%）**：出来事の並べ替え、カード挿入、移行期判定といった時系列処理が 15 箇年中 11 年度で出題されている。

2. 対象時代範囲の変遷

- **2012～2016 年度（5 年間）**：古代～近代（※2012 年は近世末まで、2014 年は近世まで）
- **2017～2021 年度（5 年間）**：古代～現代（戦後改革、高度経済成長、石油危機、国際連合などが出題）
- **2022～2026 年度（5 年間）**：古代～近代（現代史の出題なし）

直近 5 箇年の「古代～近代」構成は近年の縮小ではなく、過去 15 年のうち計 8 年度（2013 年、2015～2016 年、2022～2026 年）で確認された構成と一致している。年度によって出題される処理の組み合わせは異なるが、15 年間を横断すると、4 つの処理が複数年度にわたって繰り返し確認される。

第 2 章：大問 1 を攻略する「4 大処理の型」

処理 1：時代枠判定と選択肢消去

設問文や導入資料から「どの時代の枠組みか」をまず指差し確認する。福岡県の 4 択問題では、異なる時代の事象を混在させ、時代判定によって絞り込める問題が複数年度で確認できる。

時代	選択肢に見られる代表的キーワード
古代	口分田、租・調・庸、墾田永年私財法、摂関政治、国風文化
中世	守護・地頭、執権政治、御恩と奉公、惣・馬借、土倉・酒屋、禅宗
近世	幕藩体制、武家諸法度、参勤交代、株仲間、問屋制家内工業、商品作物
近代	廃藩置県、地租改正、殖産興業、文明開化、大日本帝国憲法、産業革命